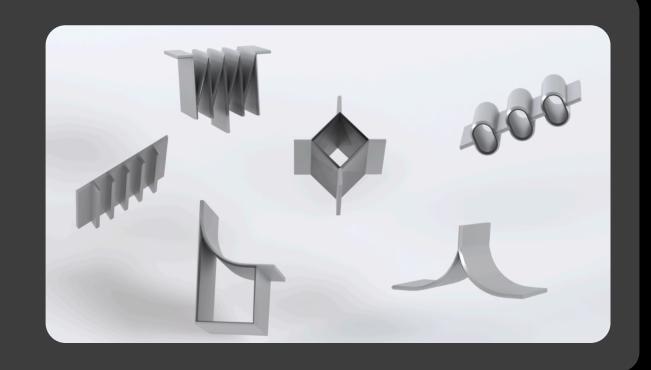
# 次世代トムソン刃

2025.12

# SCナイフとは?

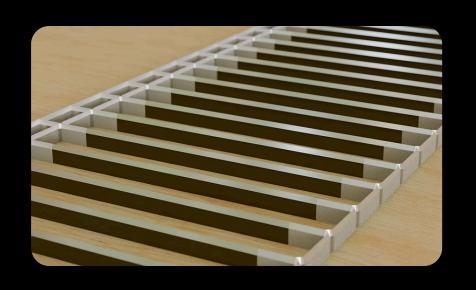
継ぎ目のない次世代のトムソン刃です 従来のトムソン刃では製作不可の形状も再現できます

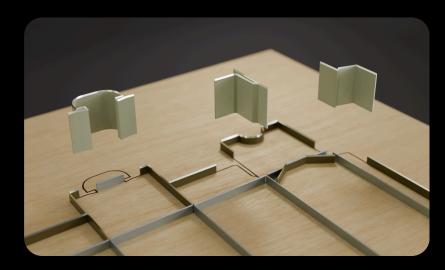
- ・継ぎ目なし
- ・高精度
- ・高さバランス良し
- ・刃交換可能
- ・部分的な使用可能



# クロムダイとの違いは?

\*刃高によってはピナクルダイとなります





**コスト** 全てクロムダイで作るとコストが・・・ SCナイフは部分的に使えるので<u>リーズナブル!</u>

**刃替え** クロムダイでは1版作り替えに・・・ SCナイフは部分的な刃替え対応が可能!

重さ クロムダイは金属のベースに貼り付けるので、重くなります・・・ SCナイフはトムソン型と同様のベニヤのベースで軽量!

# CONTENTS

- **鋭角・・・5**
- **長穴・・・6**
- 複雑形状・・・7
- **片**刃・・・8
- スリット・・・9
- 通常のトムソン型でのレイアウトの<u>制約・・・10</u>
- タブの切れ不良・・・11
- 切り離し部分にバリが出る・・・12
- ブロッキングが起こる・・・13

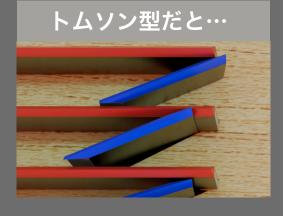
・鋭角部分の継ぎ目の開き

### 状況

- ・材料の切れ不良
  - └→ 二次加工 + 全品検査
- ・型修理が頻発
  - → 輸送コスト + 修理コスト + ラインのストップ
- ・設備破損、怪我

### 導入後の効果

- ・二次工程の削減
- ・型費のランニングコストの削減
- ・製品間を無くし歩留まり向上



干渉部分の刃を削る

→ 接点の強度不足

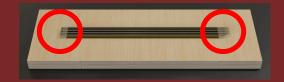
→ 継ぎ目の開きや刃抜け

曲げ加工で継ぎ目の数を

減らすと形状が犠牲に

### SCナイフなら…





図面イメージを損なわず 継ぎ目の問題を 一体成形で解消!

トムソンと組み合わせて 大きなワークでの 部分的な使用も可能!

・刃の開き、倒れ

### 状況

- ・材料の切れ不良
- ・工数の増加
- ・定期的な型修理

- ・加工不良の削減
- ・チョコ停の削減
- ・工数削減
- ・型修理が不要に





5×7 長穴形状 / シリコンゴム 1.5 t

・形状変更、トムソン加工不可

### 状況

- ・トムソン型の製作可否の確認、 形状変更の打ち合わせ、 承認作業の手間
- ・工数の増加
- ・案件の断念

### 導入後の効果

- ・加工不良の削減
- ・チョコ停の削減
- ・工数削減
- ・型修理が不要に





トムソン刃では 製作出来ない <mark>複雑形状</mark>も 再現可能!

・形状変更、トムソン加工不可 (\*片刃)

### 状況

- ・トムソン型の製作可否の確認、 形状変更の打ち合わせ、 承認作業の手間
- ・工数の増加 (別途、金型で対応)
- ・案件の断念

### 導入後の効果

- ・工数削減
- ・形状、断面精度向上
- ・新規案件獲得

# トムソン片刃 外ストレートだと…

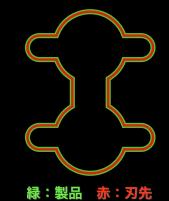






- ・曲げ加工の限界値、最小R=R3程度
- ・大幅な形状修正を伴うため事前の 打ち合わせや承認に手間が掛かる
- ・強度不足→刃抜け/刃倒れ

### SCナイフ片刃 外ストレートなら…







- ・マシニング加工での高い形状再現性
- ・継ぎ目なし
- 量産ムラなし
- ・異形状でも片刃で綺麗な断面に

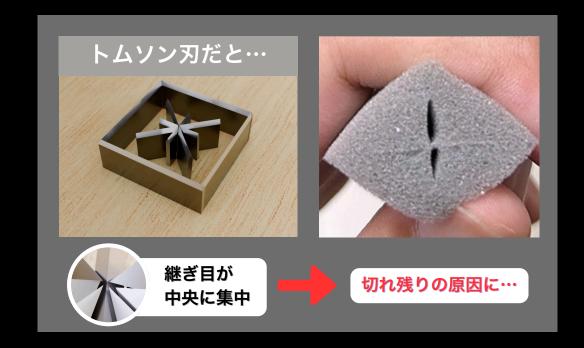


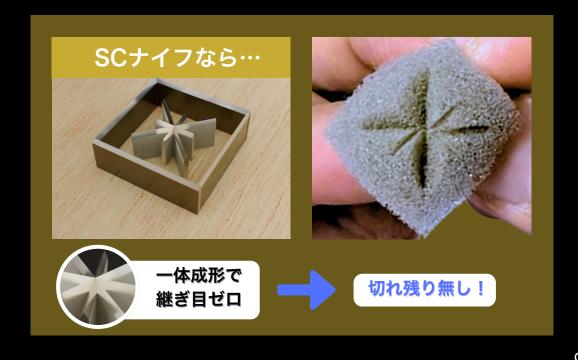
・スリット刃の抜け (倒れ/開き)

### 状況

- ・材料の切れ不良
  - └→ 二次加工 + 全品検査
- ・型修理が頻発
  - → 輸送コスト + 修理コスト + ラインのストップ
- ・設備破損、怪我

- ・段取りの安定
- ・修理コストの減少
- ・検査の時短

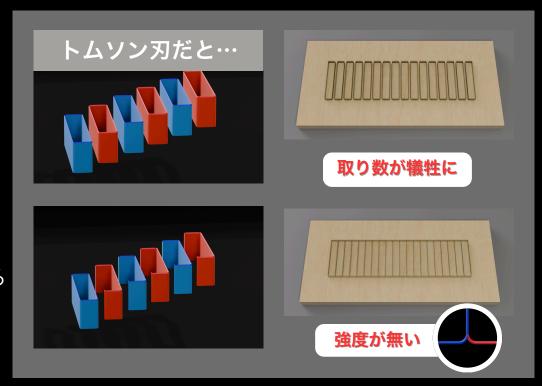




・レイアウトの制約

### 状況

- ・継ぎ目の開きを避けるため、 製品間をとって歩留まりを計算している
- ・材料ロスの発生
- ・製品単価の上昇による失注



### 導入後の効果

- ・粗利の改善
- ・製品間を無くし、歩留まり向上

┗→ 例:14.5×300(4-R3)

製品間4mm / 16ケ取 → 292mm 製品間 0mm / 20ケ取 → 290mm

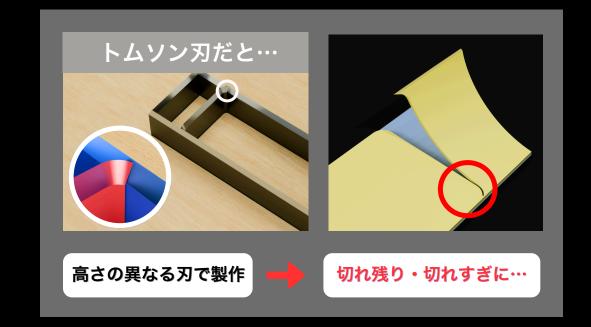


・タブの切れ不良

### 状況

- ・調整に時間がかかる
- ・二次加工
- ・検査に時間がかかる
- ・刃が開きやすく型修理が頻発

- ・ 3 時間→ 1 時間 └→セッティング + 二次加工 + 検査時間の削減
- ・型修理の頻度 / コスト軽減





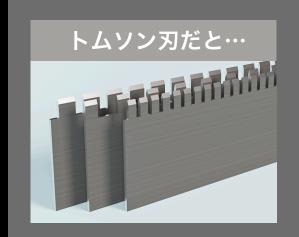
- ・品質向上(製品のバリをなくす)
- ・生産性向上

### 状況

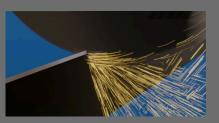
- ・全抜き加工における員数管理が面倒
- ・材料がバラバラになり作業しにくい
- ・ニックをつけると製品にバリが出る

### 導入後の効果

- ・二次工程の削減
- ・シート管理で、数え間違え無くなった
- ・員数管理が楽になった
- ・バラ品でもシート納品が可能になった



フルカット+アンカット



刃物の一部を潰す

□→製品分離時に 大きなせん断応力

└→ バリが発生





フルカット+ハーフカット ツナギ部分の刃を低く設計



離型紙側にのみバリ



製品側にはバリ無し

・加工後のブロッキング(再粘着)

### 状況

- ・不良率が80%を超えてしまうことも
- ・常温での加工、管理ができない
- ・二次工程でのカス取りに時間がかかる

- ・常温での加工、管理が可能になる
- ・スムーズなカス取りで作業時間が短縮
- ・不良率が下がる
- ・材料ロスが減る







### お問合せフォーム



SCナイフ 特設ページ

